

I 貯蓄の状況

1 概要

(1) 二人以上の世帯の平均貯蓄現在高は1638万円で2.5%の減少

平成21年平均の二人以上の世帯の1世帯当たり貯蓄現在高は1638万円で、前年に比べ2.5%の減少となった。また、年間収入が630万円で前年に比べ1.1%減少し、貯蓄年収比（貯蓄現在高の年間収入に対する比）は、前年に比べ3.7ポイント低下し260.0%となった。

このうち勤労者世帯（二人以上の世帯に占める割合54.9%）についてみると、1世帯当たり貯蓄現在高は1203万円で、前年に比べ3.8%の減少となった。また、年間収入が709万円で前年に比べ1.1%減少し、貯蓄年収比は、前年に比べ4.6ポイント低下し169.7%となった（表1）。

表1 貯蓄現在高の推移

年次	貯蓄現在高 (1) (万円)	年間収入 (2) (万円)	対前年増減率		貯蓄年収比 (1)/(2) (%)	中央値 (万円)
			貯蓄現在高 (%)	年間収入 (%)		
二人以上の世帯						
平成14年	1688	683	-	-	247.1	1022
15	1690	660	0.1	-3.4	256.1	1027
16	1692	650	0.1	-1.5	260.3	1024
17	1728	645	2.1	-0.8	267.9	1052
18	1722	645	-0.3	0.0	267.0	1008
19	1719	649	-0.2	0.6	264.9	1018
20	1680	637	-2.3	-1.8	263.7	995
21	1638	630	-2.5	-1.1	260.0	988
うち勤労者世帯						
平成14年	1280	748	-	-	171.1	817
15	1292	721	0.9	-3.6	179.2	808
16	1273	730	-1.5	1.2	174.4	805
17	1292	719	1.5	-1.5	179.7	807
18	1264	713	-2.2	-0.8	177.3	772
19	1268	718	0.3	0.7	176.6	783
20	1250	717	-1.4	-0.1	174.3	757
21	1203	709	-3.8	-1.1	169.7	754

(2) 貯蓄現在高が100万円未満の世帯の割合は10.7%

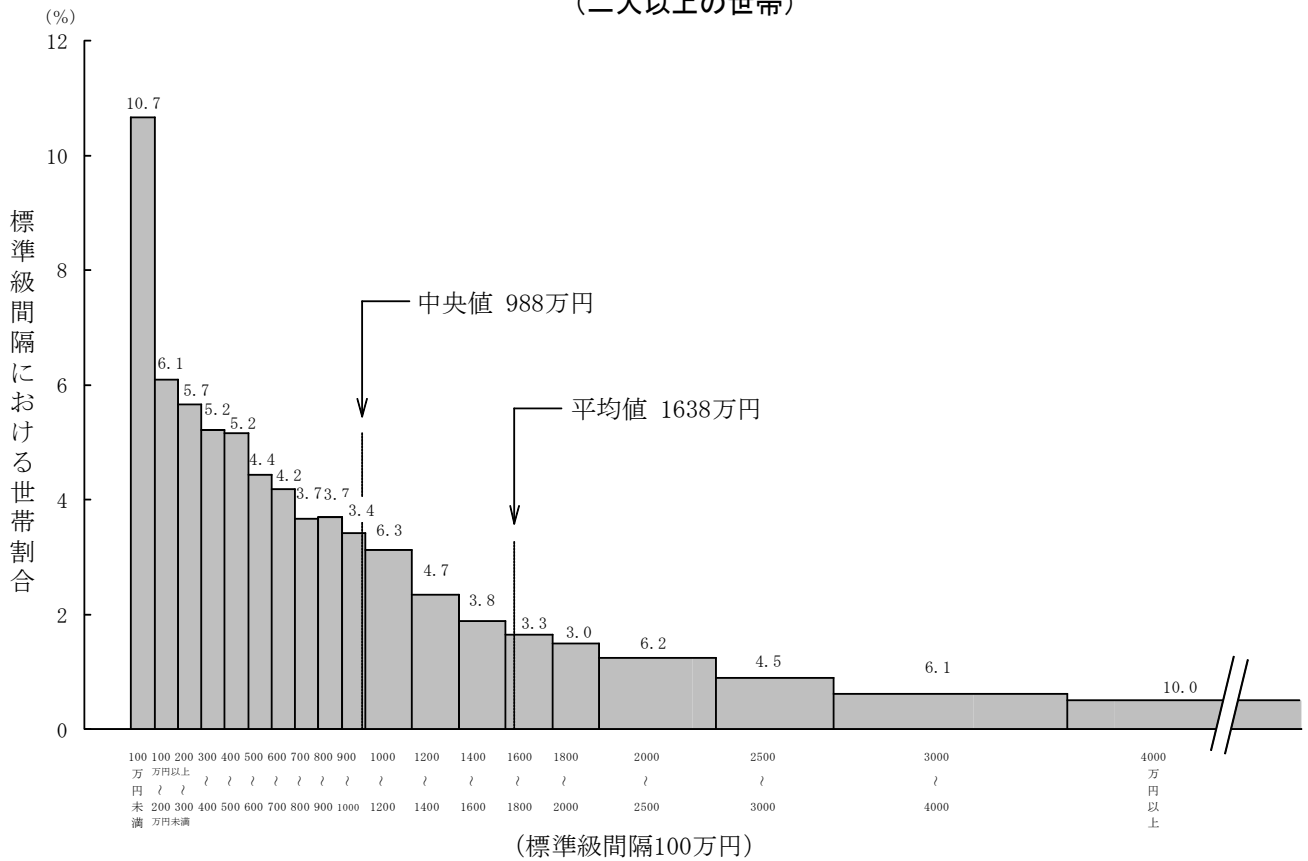
二人以上の世帯について貯蓄現在高階級別の世帯分布をみると、平均値（1638万円）を下回る世帯が67.6%（前年67.6%）と約3分の2を占め、世帯分布は貯蓄現在高の低い方に偏っている。貯蓄現在高が最も少ない100万円未満の階級が、二人以上の世帯に占める割合は10.7%となっており、前年（10.7%）と同割合となった。

また、貯蓄現在高のある世帯全体を二分する中央値（金額の低い世帯から高い世帯へと順に並べ、ちょうど中央に当たる世帯の値）は988万円（前年995万円）となった。

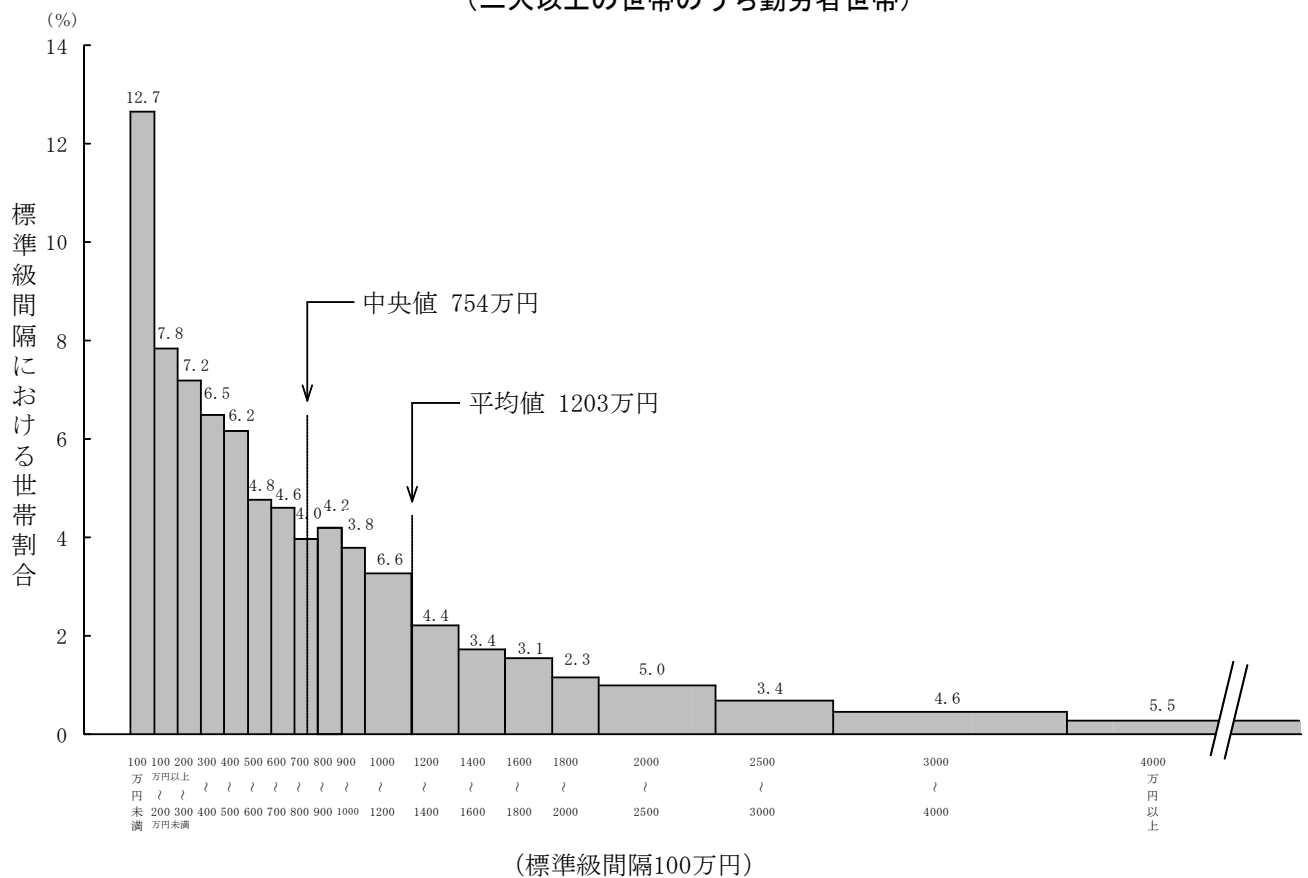
このうち勤労者世帯についてみると、平均値は1203万円、中央値は754万円となっており、共に二人以上の世帯全体より低い。なお、100万円未満の階級が勤労者世帯に占める割合は12.7%で、前年（12.5%）に比べ0.2ポイント拡大した（図1）。

図1 貯蓄現在高階級別世帯分布—平成21年—

(二人以上の世帯)



(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)



2 貯蓄の種類別内訳

(1) 二人以上の世帯及び勤労者世帯共に有価証券が減少

二人以上の世帯について1世帯当たり貯蓄現在高を貯蓄の種類別にみると、定期性預貯金が701万円（貯蓄現在高に占める割合42.8%）と最も多く、次いで「生命保険など」が377万円（同23.0%）、通貨性預貯金が296万円（同18.1%）、有価証券が222万円（同13.6%）、金融機関外が41万円（同2.5%）となっている。

このうち勤労者世帯についてみると、定期性預貯金が460万円（同38.2%）と最も多く、次いで「生命保険など」が322万円（同26.8%）、通貨性預貯金が240万円（同20.0%）、有価証券が124万円（同10.3%）、金融機関外が58万円（同4.8%）となっており、二人以上の世帯と同様の順になっている。

平成16年以降の推移をみると、近年の低金利、運用利回りの低下を背景に、二人以上の世帯及び勤労者世帯共に、貯蓄現在高が多い定期性預貯金及び「生命保険など」では減少傾向が続いていたが、二人以上の世帯の定期性預貯金については21年に増加した。また、勤労者世帯の定期性預貯金は平成20年に増加したが、21年は再び減少した。二人以上の世帯及び勤労者世帯共に、通貨性預貯金は増加傾向が続いているが、有価証券は平成21年は大きく減少した。特に、有価証券のうち株式・株式投資信託については、勤労者世帯で20%を超える減少となった（表2、図2）。

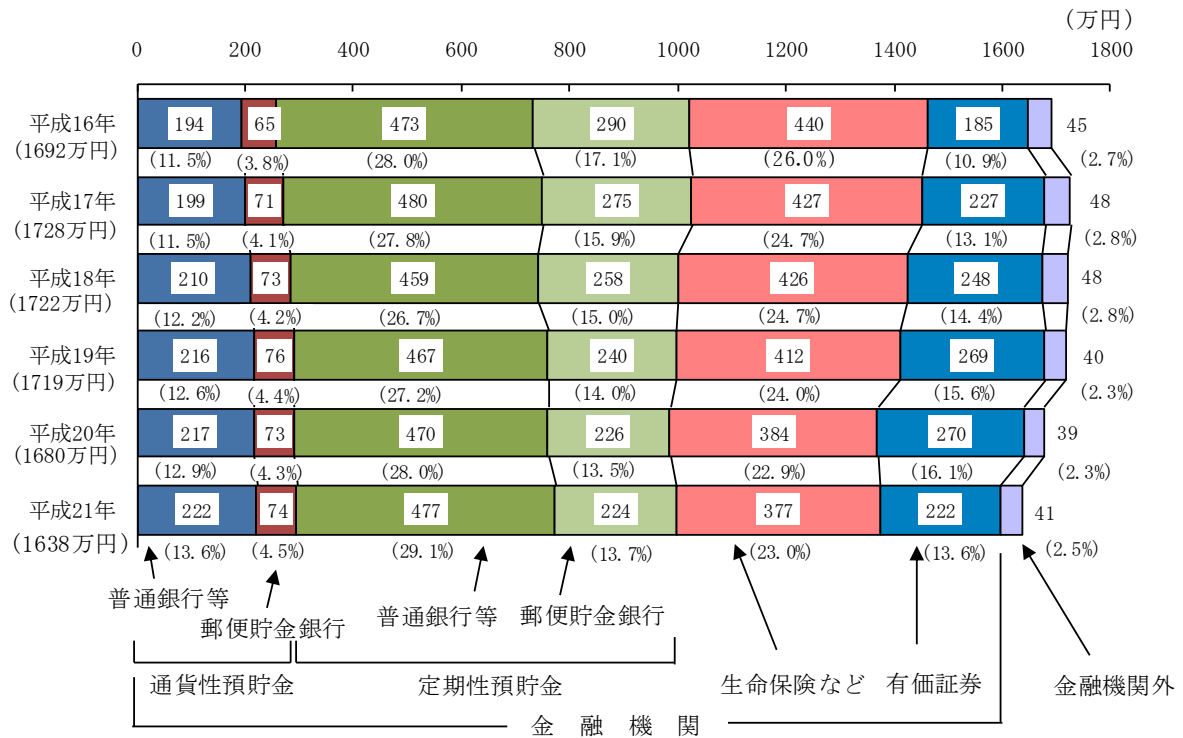
表2 貯蓄の種類別貯蓄現在高の推移

項目	二人以上の世帯																	
	平成16年			平成17年			平成18年			平成19年			平成20年			平成21年		
	金額 (万円)	構成比 (%)	対前年 増減率 (%)	金額 (万円)	構成比 (%)	対前年 増減率 (%)	金額 (万円)	構成比 (%)	対前年 増減率 (%)	金額 (万円)	構成比 (%)	対前年 増減率 (%)	金額 (万円)	構成比 (%)	対前年 増減率 (%)	金額 (万円)	構成比 (%)	対前年 増減率 (%)
貯蓄現在高	1692	100.0	0.1	1728	100.0	2.1	1722	100.0	-0.3	1719	100.0	-0.2	1680	100.0	-2.3	1638	100.0	-2.5
金融機関	1647	97.3	0.1	1680	97.2	2.0	1675	97.3	-0.3	1679	97.7	0.2	1640	97.6	-2.3	1597	97.5	-2.6
通貨性預貯金	259	15.3	2.0	269	15.6	3.9	284	16.5	5.6	292	17.0	2.8	290	17.3	-0.7	296	18.1	2.1
普通銀行等	194	11.5	2.6	199	11.5	2.6	210	12.2	5.5	216	12.6	2.9	217	12.9	0.5	222	13.6	2.3
郵便貯金銀行	65	3.8	-1.5	71	4.1	9.2	73	4.2	2.8	76	4.4	4.1	73	4.3	-3.9	74	4.5	1.4
定期性預貯金	763	45.1	-3.3	756	43.8	-0.9	717	41.6	-5.2	707	41.1	-1.4	696	41.4	-1.6	701	42.8	0.7
普通銀行等	473	28.0	-2.7	480	27.8	1.5	459	26.7	-4.4	467	27.2	1.7	470	28.0	0.6	477	29.1	1.5
郵便貯金銀行	290	17.1	-4.3	275	15.9	-5.2	258	15.0	-6.2	240	14.0	-7.0	226	13.5	-5.8	224	13.7	-0.9
生命保険など	440	26.0	-0.2	427	24.7	-3.0	426	24.7	-0.2	412	24.0	-3.3	384	22.9	-6.8	377	23.0	-1.8
有価証券	185	10.9	14.2	227	13.1	22.7	248	14.4	9.3	269	15.6	8.5	270	16.1	0.4	222	13.6	-17.8
株式・株式投資信託	120	7.1	23.7	142	8.2	18.3	166	9.6	16.9	182	10.6	9.6	171	10.2	-6.0	139	8.5	-18.7
貸付信託・金銭信託	16	0.9	-15.8	20	1.2	25.0	15	0.9	-25.0	14	0.8	-6.7	15	0.9	7.1	13	0.8	-13.3
債券・公社債投資信託	48	2.8	4.3	65	3.8	35.4	67	3.9	3.1	73	4.2	9.0	85	5.1	16.4	70	4.3	-17.6
金融機関外	45	2.7	4.7	48	2.8	6.7	48	2.8	0.0	40	2.3	-16.7	39	2.3	-2.5	41	2.5	5.1

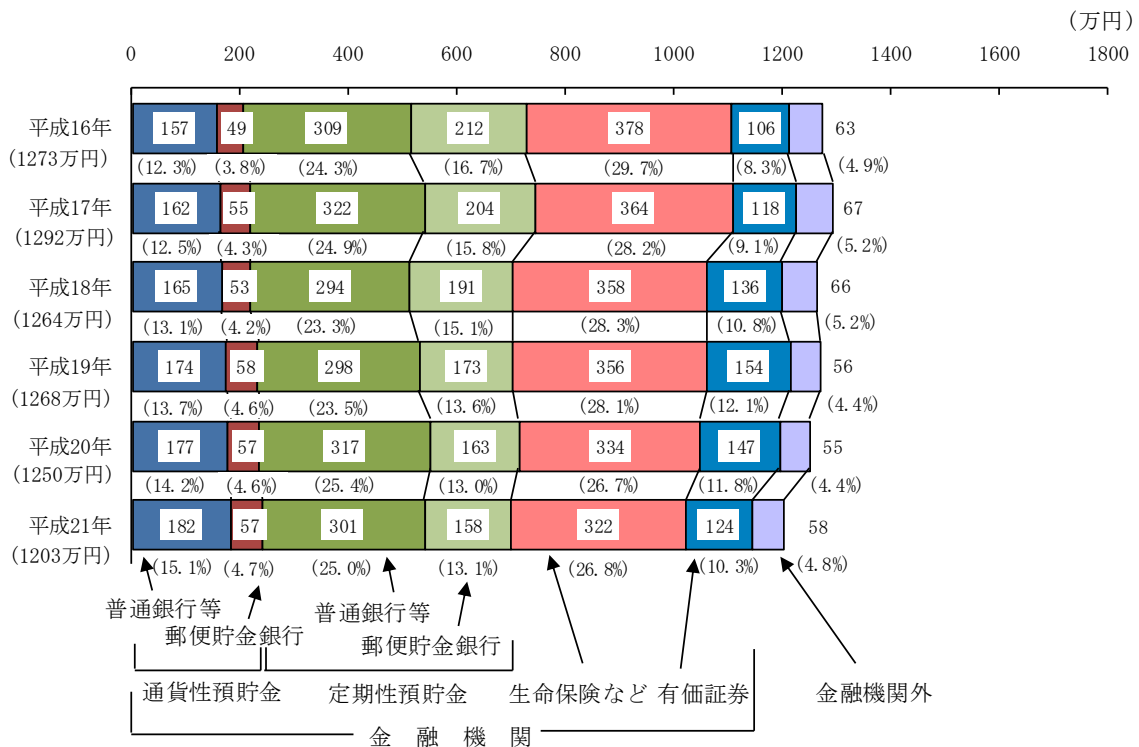
項目	うち勤労者世帯																	
	平成16年			平成17年			平成18年			平成19年			平成20年			平成21年		
	金額 (万円)	構成比 (%)	対前年 増減率 (%)	金額 (万円)	構成比 (%)	対前年 増減率 (%)	金額 (万円)	構成比 (%)	対前年 増減率 (%)	金額 (万円)	構成比 (%)	対前年 増減率 (%)	金額 (万円)	構成比 (%)	対前年 増減率 (%)	金額 (万円)	構成比 (%)	対前年 増減率 (%)
貯蓄現在高	1273	100.0	-1.5	1292	100.0	1.5	1264	100.0	-2.2	1268	100.0	0.3	1250	100.0	-1.4	1203	100.0	-3.8
金融機関	1210	95.1	-1.9	1225	94.8	1.2	1198	94.8	-2.2	1212	95.6	1.2	1195	95.6	-1.4	1145	95.2	-4.2
通貨性預貯金	206	16.2	3.0	216	16.7	4.9	218	17.2	0.9	232	18.3	6.4	234	18.7	0.9	240	20.0	2.6
普通銀行等	157	12.3	4.7	162	12.5	3.2	165	13.1	1.9	174	13.7	5.5	177	14.2	1.7	182	15.1	2.8
郵便貯金銀行	49	3.8	-2.0	55	4.3	12.2	53	4.2	-3.6	58	4.6	9.4	57	4.6	-1.7	57	4.7	0.0
定期性預貯金	521	40.9	-4.9	526	40.7	1.0	485	38.4	-7.8	471	37.1	-2.9	479	38.3	1.7	460	38.2	-4.0
普通銀行等	309	24.3	-4.9	322	24.9	4.2	294	23.3	-8.7	298	23.5	1.4	317	25.4	6.4	301	25.0	-5.0
郵便貯金銀行	212	16.7	-4.9	204	15.8	-3.8	191	15.1	-6.4	173	13.6	-9.4	163	13.0	-5.8	158	13.1	-3.1
生命保険など	378	29.7	-1.3	364	28.2	-3.7	358	28.3	-1.6	356	28.1	-0.6	334	26.7	-6.2	322	26.8	-3.6
有価証券	106	8.3	3.9	118	9.1	11.3	136	10.8	15.3	154	12.1	13.2	147	11.8	-4.5	124	10.3	-15.6
株式・株式投資信託	70	5.5	12.9	72	5.6	2.9	92	7.3	27.8	104	8.2	13.0	94	7.5	-9.6	75	6.2	-20.2
貸付信託・金銭信託	10	0.8	-16.7	11	0.9	10.0	10	0.8	-9.1	9	0.7	-10.0	8	0.6	-11.1	11	0.9	37.5
債券・公社債投資信託	25	2.0	-10.7	36	2.8	44.0	34	2.7	-5.6	41	3.2	20.6	45	3.6	9.8	38	3.2	-15.6
金融機関外	63	4.9	6.8	67	5.2	6.3	66	5.2	-1.5	56	4.4	-15.2	55	4.4	-1.8	58	4.8	5.5

図2 貯蓄の種類別貯蓄現在高及び構成比

(二人以上の世帯)



(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)



注) ()内は、貯蓄現在高に占める割合

(2) 貯蓄現在高が多い世帯ほど有価証券の割合が高い

二人以上の世帯について貯蓄現在高階級別に貯蓄の種類別割合をみると、貯蓄現在高が少ない世帯ほどおおむね通貨性預貯金の割合が高く、貯蓄現在高が多い世帯ほどおおむね定期性預貯金及び有価証券の割合が高くなる傾向がみられる（表3、図3）。

表3 貯蓄現在高階級、貯蓄の種類別貯蓄現在高（二人以上の世帯）－平成21年－

項 目	平 均	200万円	200	400	600	800	1000	1200	1600	2000	3000
		未 満	万円以上 ～400 万円未満	～600	～800	～1000	～1200	～1600	～2000	～3000	万 円 以 上
金 額 (万円)											
年 間 収 入	630	479	557	598	605	611	638	657	673	703	796
貯 蓄 現 在 高	1638	70	288	489	690	892	1084	1380	1785	2433	5428
金 融 機 関	1597	68	279	474	666	862	1055	1336	1737	2358	5320
通貨性預貯金	296	33	99	143	185	199	233	274	360	441	805
定期性預貯金	701	17	90	171	247	346	432	560	771	1071	2428
生命保険など	377	16	81	142	202	267	330	396	460	562	1083
有 価 証 券	222	1	8	18	32	50	60	106	146	284	1003
金 融 機 関 外	41	2	10	15	24	30	29	44	48	75	109
構 成 比 (%)											
貯 蓄 現 在 高	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
金 融 機 関	97.5	97.1	96.9	96.9	96.5	96.6	97.3	96.8	97.3	96.9	98.0
通貨性預貯金	18.1	47.1	34.4	29.2	26.8	22.3	21.5	19.9	20.2	18.1	14.8
定期性預貯金	42.8	24.3	31.3	35.0	35.8	38.8	39.9	40.6	43.2	44.0	44.7
生命保険など	23.0	22.9	28.1	29.0	29.3	29.9	30.4	28.7	25.8	23.1	20.0
有 価 証 券	13.6	1.4	2.8	3.7	4.6	5.6	5.5	7.7	8.2	11.7	18.5
金 融 機 関 外	2.5	2.9	3.5	3.1	3.5	3.4	2.7	3.2	2.7	3.1	2.0
構 成 比 の 対 前 年 変 化 幅 (ポ イ ン ト)											
貯 蓄 現 在 高											
金 融 機 関	-0.1	1.4	1.0	0.4	-0.7	-0.1	0.6	0.4	-0.1	-0.5	-0.2
通貨性預貯金	0.8	0.0	3.0	1.4	3.3	-1.0	0.5	0.0	1.6	1.6	0.3
定期性預貯金	1.4	-1.4	-0.8	-0.3	-0.5	0.5	-0.4	0.7	2.0	-1.3	2.6
生命保険など	0.1	1.5	-1.2	-1.4	-3.0	0.4	0.9	0.4	-2.5	-1.3	1.1
有 価 証 券	-2.5	-1.5	0.0	0.2	-0.3	0.0	-0.4	-0.6	-1.2	0.5	-4.2
金 融 機 関 外	0.2	0.0	-0.3	-0.4	0.6	0.1	-0.5	-0.4	0.1	0.6	0.2

図3 貯蓄現在高階級，貯蓄の種類別貯蓄現在高の構成比（二人以上の世帯）－平成21年－

